

(様式第4号)

第1回上田市武石地域総合センター整備検討委員会 会議概要

1 審議会名	上田市武石地域総合センター整備検討委員会
2 日時	平成29年6月8日 午前9時30分から午前11時30分まで
3 会場	武石地域自治センター2階 第1会議室
4 出席者	池内俊郎会長、北澤良子副会長、市川隆委員、井出守雄委員、伊藤定衛委員 柿蔭宣江委員、児玉卓文委員、児玉将男委員、小林明美委員、藤川まゆみ委員
5 市側出席者	木藤武石地域自治センター長、依田センター次長、下村市民サービス課長、滝沢産業建設課長、清住武石地域教育事務所長、竹花丸子建設課長、加々井政策企画担当係長、渡辺行政改革担当係長、田中建築担当係長、坂部地域政策担当係長、金子庶務担当係長、小林建築担当主査、桜井建築担当主査、掛川庶務担当主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 5人
8 会議概要作成年月日	平成29年6月14日

協 議 事 項 等

- 1 開会(依田センター次長)
- 2 委嘱書交付
- 3 あいさつ(木藤センター長)
- 4 自己紹介(委員及び事務局職員自己紹介)
- 5 上田市武石地域総合センター整備検討委員会について
 - ・資料2説明(木藤センター長)
- 6 会長・副会長選出
 - ・会長に池内俊郎委員、副会長に北澤良子委員を選出
- 7 会長・副会長あいさつ(池内会長、北澤副会長)
- 8 検討・協議事項
 - (1) 委員会の運営について
 - ・資料3説明(依田センター次長)
 - [質疑]
 - (委員) スケジュールが立て込んでいるが、慎重に審議する必要がある。建設はいつになるのか。
 - (事務局) 財源の起源により平成32年度の完成を目指す。そのためには平成30年1月までに基本計画(案)をまとめないと間に合わない。
 - (委員) 今回の資料は前日の配布だったが、今後資料配布はいつになるか。
 - (事務局) 次回からは事前に余裕をもって配布したい。
 - (委員) 武石地域総合センター建設に関して、市としての方針や制限などはあるか。
 - (事務局) 別冊資料に「武石地域総合センター建設に関連する上位計画」が掲載されている。新生上田市建設計画には、「武石地域自治センターに総合支所を置くこと、地域振興や防災など地域課題に対応する業務を行うこと、生涯学習や地域福祉など住民に必要な施設を配置すること、住民自治の推進やコミュニティ活動の拠点となる施設を設けること」などが盛り込まれている。また、「上田市公共施設マネジメント基本方針」の公共施設5原則として、「総量の縮減、適切な維持管理、施設統廃合の検討、施設の集約化によるコンパクトシティの推進、マネジメントへ市民の理解と協力のもとで取り組むこと」が盛り込まれている。武石地域総合センターは、すでに完成している塩田、川西地域自治センターとは機能が異なるので、できるだけ要望を取り入れていきたい。

(委員)委員の任期は平成30年1月までと考えてよいか。基本計画や具体的なレイアウト(設計図)に対して意見は述べられるのか。

(事務局)大まかなレイアウトは出せると思う。

(委員)市庁舎検討委員会で示された図面程度は出してもらいたい。

(事務局)それは出すことができる。

(委員)平成30年1月以降に任期が伸びる可能性はあるか。

(事務局)この後のスケジュールを考慮すると、目標は平成30年1月である。

(委員)基本構想、基本計画、基本設計と段階を経ていくようだが、それぞれの内容をわかりやすく説明してほしい。

(事務局)基本構想では、集約の範囲、建物の位置、大まかな規模など、基本計画では建物の機能、大まかな施設のレイアウトなどを決め、基本設計では建築課でレイアウトを作成する。

(委員)基本設計は、この委員会に諮られるのか。

(事務局)第6~7回(9~10月)の委員会で、基本設計も同時に協議を進められるように考えたい。

(委員)庁舎の改築に向けた基本的な方針の原案があるなら示してほしい。現在の自治センターに耐震性がないのは皆承知しているので、説明は不要である。

(事務局)お配りしてある配布資料が原案になっている。配布資料P.14の8集約の範囲、9建物の位置について、本日意見をいただきたいと考えている。現状を知らない委員もいるので共通認識として、皆さんに現状を説明させていただきたい。

(委員)検討する期間が短い。具体的な案を示してもらい検討していきたいと思っている。

(委員)基本設計は本庁建築課で行うのか。

(事務局)基本設計は本庁建築課で行い、実施設計は業者が行う。

(2) 庁舎の改築について

・配布資料説明(依田センター次長)

[質疑、意見]

(委員)耐震基準を満たしていない4施設を集約するという事で委員会の意思統一が必要だと思う。

(委員)集約する施設ではないが、保育園は新耐震基準を満たしているといっても26年が経過している。また保育園北側の職員駐車場付近が陥没しているという話を保育園から聞いている。

(事務局)集約する施設だけでなく、周辺施設や道路も変更する可能性があるので、様々な意見を出していただきたい。

(委員)残す施設も手を入れる可能性があるということで考えさせていただきたい。自治センター周辺はコンパクトにまとまっているといっても、道路で隔たれている。道路の改良も含めて検討させてもらいたい。

(会長)4施設を集約するという方向でよいか。

~ 反対意見なし ~

・別冊資料説明(依田センター次長)

(委員)集約の範囲と建物の位置について、事務局で具体的な案はあるのか。

(事務局)集約の範囲として、武石地域自治センター、武石公民館、武石健康センター、武石老人福祉センター寿楽荘の4施設を検討している。

(委員)施設はまとまっているようばらけている。建物の位置はエリアだけでよいのか、具体的な場

所まで決めるのか。

(事務局) 武石公民館ホールは耐震基準を満たしているため、それを残し公民館跡地に建設する案を第1案に考えている。すべて解体して自治センター跡地に新しいものを建てるという案もあると思う。まずはホールを残すかどうかを決めていただきたい。

(委員) ホールはぜひ残していただきたいと思うが、その場合駐車場がなくなってしまう。道路も変える必要が出てくる。

(委員) 先ほど委員から保育園周辺の陥没の話もあり、保育園も将来建て替える可能性があるかもしれない。保育園側へ建物を増築すれば、現在の公民館正面側に駐車スペースが確保できる。

(委員) ホールは残して、現在の自治センター跡地に総合センターを建てたらどうか。

(委員) 建てる施設にどのようなものを集約するのか。

(委員) ホールは武石地域の財産として残したいが、公民館跡地に総合センターを建設すると駐車スペースがなくなってしまう、保育園送迎に来る保護者は困ると思う。駐車場から施設側へ道路を横断しない形が理想だが、水路もあり道路を変更するのは難しいのではないかと。また、藤沢は土砂災害警戒区域に指定されており、過去に大水が出たこともある。

(事務局) 藤沢は、現在県で砂防堰堤を建設しているので危険性は減ると思う。

(委員) 保育園の園庭が現在も公民館の陰になってしまい、水はけも悪く不便。今以上の高い建物になると困る。また子どもの送迎では、駐車場が遠くなったり、道路を横断しなければいけなくなったりすると危険である。

(事務局) 保育園の送迎専用駐車場については、近くに確保できるよう庁内でも検討している。

(委員) 事務局案で検討した場合、公民館跡地に総合センターは配置できるのか。将来的に保育園や保育園裏の公営住宅も改築する可能性はあると思う。それも含めて検討していく必要があるのではないかと。

(委員) 話し合いのベースになる具体的な配置図などを示してほしい。

(事務局) 基本的な方針として、公民館ホールを残して公民館跡地に他の施設を集約するという点でよろしいか。

(委員) 集約後の規模はどの程度なのか。集約した施設が公民館跡地に収まるのか。自治センターを別に建設するという案はないのか。

(事務局) 過去に庁内で検討した際に、ホールを残して別に自治センターを建てる案もあったが、利便性の悪さ、コスト面で現在の集約する案になった。

(委員) 別々に建てる案が廃案になった理由など、過去の検討経過も示してほしい。

(委員) 集約は非常に重要だと思う。誰もが集える施設になってほしい。道路、水路の変更を含め、事務局でよい案を示してほしい。

(3) その他

- ・第2回武石地域総合センター整備検討委員会 6月下旬に開催予定

9 閉会 (依田センター次長)

会議後、希望する委員は自治センター、公民館、健康センター、老人福祉センターの状況を確認。